

ASBJ Newsletter



目次

1. 企業会計基準等の開発（2013年8月1日～2013年9月30日）
2. 企業会計基準委員会の概要（第270回～第272回）
3. IASB及びFASBに対するASBJのコメント（2013年8月1日～2013年9月30日）
4. 会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）第2回会議がロンドンで開催
5. 会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）会議に参加
6. アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）中間会議に参加
7. 世界会計基準設定主体（WSS）会議に参加
8. ASBJオープン・セミナー（2013年9月・10月）を開催
9. 開示実務新任者向けFASFセミナー「有価証券報告書及び四半期報告書作成上の留意点の活用方法」を開催
10. お知らせ
 - 1) 刊行物のご案内
 - 2) ASBJ Webセミナーのご案内
 - 3) 開示実務新任者向けFASF Webセミナーのご案内

《ご注意》本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

1. 企業会計基準等の開発 (2013 年 8 月 1 日～2013 年 9 月 30 日)

- 1) 【Final】 [改正企業会計基準第 21 号「企業結合に関する会計基準」及び関連する他の改正会計基準等](#) の公表 (2013 年 9 月 13 日)

【凡例】

ED : 公開草案

Final : 会計基準/適用指針等 (最終)

2. 企業会計基準委員会の概要 (第 270 回～第 272 回)

- 1) [第 270 回 \(2013 年 8 月 9 日開催\)](#)

- | |
|--|
| <p>a. IASB ディスカッション・ペーパー「『財務報告に関する概念フレームワーク』の見直し」の概要及び当委員会からの意見募集について</p> <p>b. リース会計専門委員会における検討状況</p> <p>c. IASB 公開草案「保険契約」の概要</p> <p>d. 企業結合 (ステップ 2) の検討</p> <p>e. 実務対応報告第 18 号の見直しについて</p> |
|--|

- a. 2013 年 7 月 18 日に IASB から公表された ディスカッション・ペーパー「財務報告に関する概念フレームワークの見直し」の概要説明とコメント対応の検討が行われました。
- b. IASB が FASB とともに 2013 年 5 月 16 日に公表した改訂公開草案「リース」に対するコメントの方向性及びコメント文案の検討が行われました。
- c. 2013 年 6 月 20 日に IASB から公表された改訂公開草案「保険契約」の概要についての説明がなされ、審議が行われました。
- d. 基準最終化に向けて公開草案を再度公表する必要性の有無及び「企業結合に関する

会計基準」及び関連する他の会計基準等の文案について説明がなされ、公開草案を再度公表する必要がないとする事務局案に対して出席委員からは反対の意見は聞かれず、最終公表物として議決することが了承されました。

- e. 実務対応報告第 18 号の見直しに関する専門委員会での検討状況の報告とその方向性についての検討が行われました。

- 2) [第 271 回 \(2013 年 8 月 28 日開催\)](#)

- | |
|--|
| <p>a. ASAF 対応専門委員会における検討状況</p> <p>b. リース会計専門委員会における検討状況</p> <p>c. IASB 公開草案「保険契約」へのコメント対応及び FASB 公開草案「保険契約」の概要</p> <p>d. IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況</p> <p>e. 実務対応報告第 18 号の見直しについて</p> |
|--|

- a. ASAF 対応専門委員会における検討状況について報告がなされるとともに、ASAF 対応専門委員会で議論された、IASB ディスカッション・ペーパー「財務報告に関する概念フレームワークの見直し」のうち、包括利益計算書における表示—純損益とその他の包括利益、及び測定について詳細な説明が行われました。
- b. IASB が FASB とともに 2013 年 5 月 16 日に公表した改訂公開草案「リース」に対するコメント文案の検討が行われました。
- c. 2013 年 6 月 27 日に FASB から公表された公開草案「保険契約」の概要について説明が行われた後、IASB の改訂公開草案に対する ASBJ からのコメント・レターの検討を進めるにあたって、①契約上のサービス・マージンの調整、②保険契約収益及び

費用の表示、③純損益における金利費用について検討が行われました。

- d. IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況の概略について説明がなされました。
- e. 実務対応報告第 18 号の見直しに関する専門委員会での検討状況の報告とその方向性についての検討が行われました。

3) [第 272 回 \(2013 年 9 月 9 日開催\)](#)

- a. 第 2 回会計基準アドバイザリー・フォーラム (ASAF) への対応について
- b. IASB公開草案「リース」へのコメント対応
- c. IASB公開草案「保険契約」及びFASB公開草案「保険契約」へのコメント対応
- d. 企業会計基準「企業結合に関する会計基準 (案)」及び関連する他の会計基準等の改正について (公表議決)

- a. 第 2 回会計基準アドバイザリー・フォーラム (ASAF会議、9 月 25,26 日にロンドンにて開催)への対応計画について説明がなされ、議題のうち、開示 (豪州会計基準委員会が公表した小論文及び開示フォーラムに関するフィードバック文書)、概念フレームワーク (慎重性) 並びにマクロヘッジ活動の会計について、詳細な説明がなされ審議が行われました。
- b. IASBがFASBとともに 2013 年 5 月 16 日に公表した改訂公開草案「リース」に対するコメント文案の検討が行われました。
- c. IASB公開草案「保険契約」及びFASB公開草案「保険契約」へのコメント対応についての検討が行われました。
- d. 企業会計基準「企業結合に関する会計基準 (案)」及び関連する他の会計基準等の改正案について、今回の会計基準の改正に関するこれまでの検討経緯等の説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正

については委員長に一任する前提で、出席委員全員の賛成をもって、改正企業会計基準第 21 号「企業結合に関する会計基準」をはじめとする 7 つの改正会計基準と 4 つの改正適用指針を公表することが承認されました。

3. IASB及びFASBに対するASBJのコメント (2013 年 8 月 1 日～2013 年 9 月 30 日)

- 1) [改訂公開草案「リース」に対するコメント](#) を提出 (2013 年 9 月 13 日)

4. 会計基準アドバイザリー・フォーラム (ASAF) 第 2 回会議がロンドンで開催

2013 年 9 月 25、26 日に会計基準アドバイザリー・フォーラム (ASAF) 第 2 回会議が英国 (ロンドン) で開催されました。ASAFは、2013 年 4 月に、国際会計基準審議会 (IASB) に対して主に技術的な助言を行うことを目的として設置された会議体で、ASBJを含む 12 の組織より構成されています。今回の会議には、12 の組織の代表者が出席した他、IASB Hans Hoogervorst議長、Ian Mackintosh副議長をはじめ、多くのIASB理事やスタッフが参加しました。ASBJからは、西川委員長が出席しています。会議では、次の事項について活発な議論が行われました。

- ・ 開示 (IASBの短期的及び中長期的な対応の方針、豪州会計基準委員会が公表した小論文)
- ・ 概念フレームワーク (慎重性について)
- ・ リース

- ・ 金融資産の減損
- ・ 保険契約
- ・ マクロヘッジ活動

次回会議は、2013年12月5、6日（ロンドン）に開催される予定です。

5. 会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS) 会議に参加

2013年9月19日及び20日の2日間にわたり、ベルギーのブリュッセルにて会計基準設定主体国際フォーラム (International Forum of Accounting Standard Setters : 略称 (略称: IFASS)) 会議が開催されました。会議には、英国、米国、カナダ、フランス、ドイツ、オーストラリア、韓国、インド、シンガポール等の会計基準設定主体や各地域グループやIASBから総勢38団体(65名)の参加があり、ASBJからは、関口常勤委員及び紙谷ディレクターが参加しました。

本フォーラムは、各設定主体が取り組んでいる研究プロジェクトに関する議論や、IASBの基準開発へのインプットやサポートを行うことを目的とするものであり、年2回、春と秋に定期的に会議が開催されています。

今回の会議では、以下のテーマについて議論が行われました。

	議題	担当
1	IASBの作業計画及びIFRS財団の動向	
	(1) 全般	事務局 /IASB
	(2) 細かい多数の修正に対する各国基準設定主体の対応	ドイツ
	(3) 解釈指針	事務局

2	各国の時事的な問題	
	(1) 料金規制活動	韓国
	(2) IFRS第11号「共同支配の取決め」の適用	イタリア
3	(3) 統合報告	IASB
	概念フレームワークに関する議論	
	(1) プロジェクトの概要	米国
4	(2) 慎重性	EFRAG
	(3) 測定	オーストラリア
4	各国基準設定主体とIASBの間のベストプラクティスに関する文書の改訂	IASB、議長、オーストラリア
5	IFASS運営に関する事項	議長 /IASB
6	IFRS第3号「企業結合」基準適用後のレビュー	IASB
7	事業モデルの役割	EFRAG /フランス /イギリス
8	IASBで審議されている主要なプロジェクト	
	(1) リース	IASB
	(2) 金融商品	IASB
9	(3) 保険	IASB
	各国の時事的な問題	オランダ
	部分的に所有されている子会社が連結されている場合に要求される開示	
10	地域グループからの報告	各地域グループ
	各国の時事的な問題	
11	(1) 割引率の論点	ドイツ
	(2) 包括利益計算書における異常項目の表示	インド
12	その他	議長、オ

		ーストラ リア
--	--	------------

6. アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）中間会議に参加

2013年9月22日に、ロンドンにてアジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（略称：AOSSG）の中間会議が開催されました。会議には、アジア・オセアニアの基準設定主体及びIASBから、11団体（27名）が参加し、ASBJからは、西川委員長、小賀坂副委員長、関口常勤委員及び紙谷ディレクターが参加しました。今回の会議は、11月に開催される年次総会に向けた中間会議としての位置付けで、IASBより公開されている公開草案に対するコメント等について、以下のような議題について議論が行われました。

	議題	担当
1	IFRS Centre of Excellenceプロジェクト	議長
2	農業：果実生成型植物	インド、マレーシア
3	概念フレームワーク	ASBJ
4	保険契約	韓国
5	新たな作業グループの設置	議長
6	その他	議長

7. 世界会計基準設定主体（WSS）会議に参加

2013年9月23日、24日に、ロンドンにて世界会計基準設定主体（略称：WSS）会議が開催されました。同会議は、世界各

国の会計基準設定主体と意見交換を行うためにIFRS財団が年に1回主催するもので、今回の会議には、世界各国から多数の会計基準設定主体が参加しました。ASBJからは、西川委員長、小賀坂副委員長、関口常勤委員及び紙谷ディレクターが参加しました。今回の会議は、2013年7月にIASBから公表されているディスカッション・ペーパー「財務報告に関する概念フレームワークの見直し」に記載されている内容のうち、特に、資産及び負債の定義と認識、並びに、測定及びその他の包括利益について、IASB理事やスタッフから説明がされた上で、参加者による意見交換が行われました。

8. ASBJオープン・セミナー（2013年9月・10月）を開催

ASBJ/FASFでは、国際的な会計の動きを迅速にフォローできるASBJならではの最新情報を提供することで、FASF会員へのサービスの向上を図るため、2010年度より“ASBJオープン・セミナー”を開催しています。

今回のセミナーでは、ASBJからは、IFRSのエンドースメントに関するASBJの計画の概要、IASBの個別プロジェクトの動向、会計基準アドバイサリーフォーラム（ASAF）の状況等に関する報告がなされました。また、国内基準の開発状況として、2013年9月13日に公表された企業結合に関する会計基準及び関連する他の会計基準等の概要を中心に説明を行いました。これに加え、金融庁よりIFRSをめぐる行政当局における最近の取り組みについての説明がなされました。

当セミナーは、今回、全国証券取引所の協力を得ながら全国5カ所で開催され、合

計 600 名以上の聴講者が来場しています。また、当セミナー開催に合わせ、札幌では北海道経済連合会の皆様と、名古屋では日本公認会計士協会 東海会の方々と意見交換会を開催し、ASBJ/FASFの活動への一層の理解に努めております。



の皆様から大変ご好評をいただいております。今年は 2 日間で約 450 名の方にご参加いただきました。

当セミナーは、FASF発行の「有価証券報告書の作成要領」及び「四半期報告書の作成要領」を使いこなすために必要な知識の習得を目的とし、企業内容等の開示府令や連結財務諸表規則等について体系から説明を行う「開示の基礎」に特化した解説セミナーで、開示実務に携わって 1 年目～2 年目の方を主な対象者としています。



開催日	開催地	会場
9月24日	札幌	札幌証券取引所
9月27日	福岡	TKP天神シティセンター
9月30日	大阪	大阪国際会議場
10月1日	東京	よみうりホール
10月4日	名古屋	ダイテックサカエ

開催日	開催地	会場
9月13日	大阪	大阪国際会議場
9月17日	東京	ベルサール半蔵門

9. 開示実務新任者向け F A S F セミナー「有価証券報告書及び四半期報告書作成上の留意点の活用方法」を開催

FASFでは、従来から行っている有価証券報告書等の作成要領の改正ポイントに関するセミナーに加えて、開示実務新任者向けの解説セミナーを 2013 年 9 月 13 日に大阪、同月 17 日に東京で開催しました。当セミナーは 2011 年 12 月に初めて実施し、今回で 3 回目となりますが、参加者

10. お知らせ

1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 42 号
(2013 年 9 月 30 日刊行)

【主な内容】

- ✓ 特集：「国際会計基準 (IFRS) への対応のあり方に関する当面の方針」について
- ✓ Accounting SQUARE：「協会が直面

する課題とその対応 会計・監査の基盤強化へ向けて” …森 公高 日本公認会計士協会 会長

- ✓ CFO Letter : “「攻めの財務」のすすめ” …後藤 芳光 ソフトバンク(株) 常務執行役員 財務部長
- ✓ Chairman’s Voice : “エンドースメントされたIFRSの策定” …西川 郁生 ASBJ委員長

②国際財務報告基準(IFRS)2012 IFRS 財団公認日本語版

IASBが公表したIFRSの全内容を収録した公式出版物「International Financial Reporting Standards 2012」の日本語版。新基準であるIFRS第10号「連結財務諸表」、第11号「共同支配の取決め」、第12号「他の企業への関与の開示」、第13号「公正価値測定」や、改訂IAS第19号「従業員給付」など、2011年の改定内容をフォローして2012年1月1日現在で公表されている基準書等を掲載している最新版であり、合計3600頁以上に及ぶ原書の全文が翻訳されています。

2010年版から、原書の構成変更に合わせて、強制力のある要求事項（基準本文、適用指針）を収録したPart Aと、強制力のない付属文書（結論の根拠、適用ガイダンス、設例等）を収録したPart Bとの2分冊となっています（分売不可）。

※ご購入は[こちら](#)。

※第30号より、FASF会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホームページ（会員専用サイト）](#)よりご覧になることができます。どうぞご利用ください

い。

2) [ASBJ Webセミナーのご案内](#)

ASBJ/FASFでは、FASF会員の皆様にASBJの開発する会計基準やASBJ/FASFの活動をより分かりやすく効率的に理解していただくために、Webセミナーをホームページ（会員専用サイト）で提供しています。

なお、ASBJオープン・セミナー2013年9月・10月（2013年10月1日、よみうりホールにて収録）を2013年11月1日より期間限定で掲載を予定していますので、会員の皆様はどうぞご利用ください。

3) [開示実務新任者向けFASF Webセミナーのご案内](#)

FASFでは、開示実務新任者向けの解説セミナーを2013年9月13日に大阪、同月17日に東京で開催しました。

同セミナーを基に、FASF発行の有価証券報告書の作成要領及び四半期報告書の作成要領を利用する上で必要と思われる知識の習得や、企業内容等の開示に関する内閣府令や財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等について体系から学ぶ開示の基礎に特化した解説セミナーとして、ホームページ（会員専用サイト）での提供を2013年10月18日より開始しました。会員の皆様はどうぞご利用ください。

“ASBJ Newsletter”（第35号）

2013年10月18日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 20 階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail : planning@asb.or.jp

Fax : 03-5510-2712